

医療機関向け説明会

予防接種事務デジタル化について

**令和 8 年 9 月
鹿児島市感染症対策課**

はじめに

○本説明会の目的

- ・デジタル化の意義や必要性について理解を深めていただく
- ・制度の概要や医療機関における運用イメージをご理解いただく

○目次

第1編 予防接種事務デジタル化の概要について

- 1-1 予防接種事務デジタル化の概要
- 1-2 予防接種事務デジタル化のメリット
- 1-3 接種状況に関するダッシュボードについて
- 1-4 デジタル化後の「紙」の予診票の取扱いについて
- 1-5 デジタル化後事務フロー
- 1-6 医療機関内におけるデジタル予診票への対応方法

第2編 集合契約（デジタル化対応予防接種委託契約）について

はじめに

○デジタル化の概要

予防接種の受付から接種記録の登録、請求処理までを電子で実施する仕組み

○市の方針

令和10年4月1日 運用開始

予防接種サイトを利用予定（医療機関はオンライン資格確認ネットワークの接続の整備が必要）

※コスト負担はかからない見込みです

○今後の説明会スケジュール

システム導入前の事務連絡や運用開始前の事務連絡などについて、令和9年度に説明会を実施する予定です。

詳細な時期については決まり次第、お知らせいたします。

1 - 1 予防接種事務デジタル化の概要

背景・経緯

- 新型コロナウイルス感染症への対応において、次の課題が浮き彫りとなった。
 - ① 紙をベースとした予防接種事務の事務負担
 - ② 予防接種の有効性・安全性に関する調査のための情報基盤の不存在
- このため、**令和4年改正法（※）により予防接種法を改正**し、**予防接種事務デジタル化に必要な規定の手当て**を行った。
 - ※ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律（令和4年法律第96号）
- これらの規定の施行期日を、11月25日閣議決定・28日公布の政令により、**令和8年6月1日と定めた**。
 - ※ 法律上は、公布の日から起算して3年6月を超えない範囲内において政令で定める日とされている。

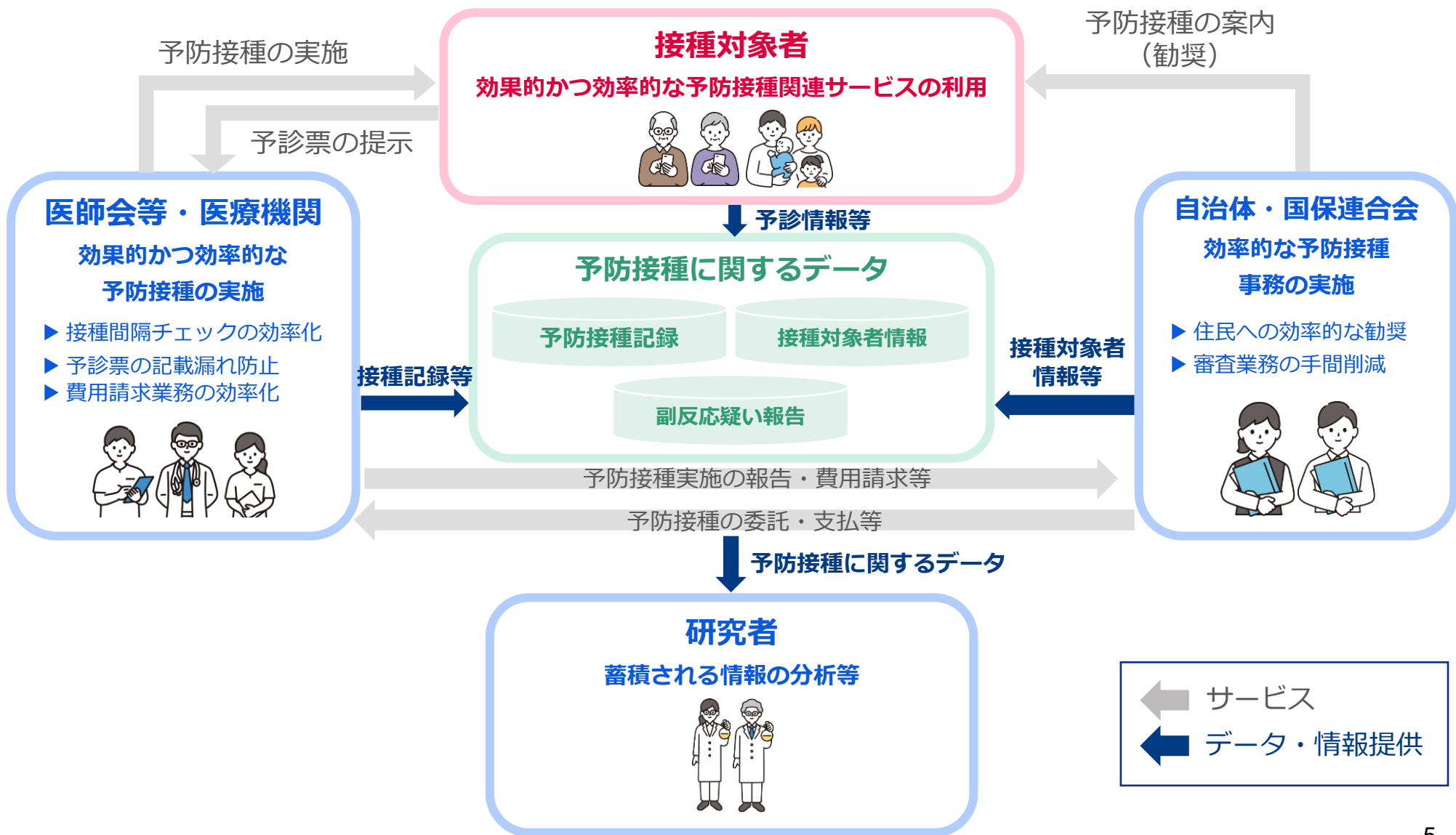
デジタル化の概要

- **一次利用（予防接種の対象者・自治体・医療機関におけるデジタル化）**
 - 医療保険におけるオンライン資格確認と同様に、**個人番号カードによる接種対象者の確認の仕組みを導入**。
 - 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システム（予予・請求システム）により、自治体の接種記録を管理するほか、自治体及び医療機関間の費用請求・支払事務を効率化。
- **二次利用（予防接種データの利活用）**
 - 予防接種の有効性・安全性の向上のための調査・研究を行うため、予防接種の実施状況や、副反応疑い報告に係る情報を含む**匿名予防接種データベースを整備し、医療保険レセプト情報等のデータベース（NDB）等との連結解析を可能とする**。
 - **匿名予防接種データベースの情報を、大学や研究機関等へ提供できるようにする**。

スケジュール

- 国のシステムは、改正予防接種法の施行期日（令和8年6月1日）に合わせてリリースした一方、自治体システムの改修は、令和10年4月までに順次進む。
 - ※ 法令上、自治体は令和10年4月1日までにデジタル化に必要な機能を実装しなくてはならないこととされている。
ただし、特定移行支援システムに該当する一部自治体については、デジタル化が遅れる見込み。

1 - 2 予防接種事務デジタル化のメリット



1 - 2 予防接種事務デジタル化のメリット

デジタル化でここが変わります！



複数ワクチンの予診票へ楽々入力！
さらに住所などは自動入力

最後に入力した内容を引継ぎますか？

別の予診票で入力した内容を引継いでフォームに反映します。
都度回答が必要な項目は引き継がれません。最新状況と異なる場合は修正して回答してください。

入力内容を引継ぐ

入力内容を引継ぎません

何枚もの予診票の記入は不要
デジタル予診票なら
引継ぎ機能・自動入力で楽々
入力！

子どもの接種歴が自動反映され
いつ何を打てばいいかを自動表示

2024年1月

小児肺炎球菌（13価） 定期
1回目
接種日：2024/01/04

B型肝炎 定期
2回目
接種日：2024/01/01

五種混合（DPT-IPV-Hib）（皮下接種） 定期

ワクチンごとに接種時期や間隔が
異なるためスケジュール管理が大変
…
マイナポータルを見れば簡単に！
接種記録をいつでも確認できる！

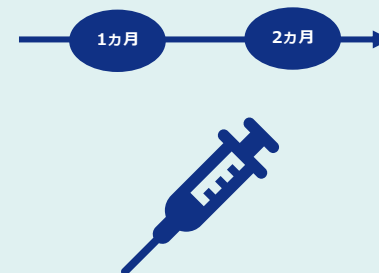


接種実績の集計や報告が自動化！



接種記録を取りまとめるのは手間…
接種記録を登録すれば自動で請求！

間違い接種防止のための
ワーニング機能あり



過去の接種実績から接種間隔を
自動でチェック！

マイナンバーカードによる
オンライン資格確認により、
紙の予診票でも接種情報の取得
が可能です。

1 - 3 接種状況に関するダッシュボードについて

- 今般のデジタル化により、システムに集積される接種記録情報を活用することで、迅速かつ詳細に接種率を把握することが可能となります。
※現行の運用では、地域保健・健康増進事業報告（年度報）の数値に基づく接種率を2年度遅れで公表しており、接種状況と当該状況の公開に乖離がある点が課題となっている。
- このため、令和10年度に向けて、厚生労働省HPに「接種状況に関するダッシュボード」を新たに構築することとし、各自治体における各ワクチンの接種率・接種件数等を可視化し、接種率の早期把握による接種率の向上をはじめ、予防接種施策に活用していきます。

ダッシュボードのメリット

国民
(住民)

自治体ごと、ワクチンごとに、タイムリーな接種率（※）を確認できることで、接種率の向上、予防接種への理解促進につながる

医療機関

自治体ごと、ワクチンごとに、タイムリーな接種率を確認できることで、接種状況や接種ピークを把握することができる

製薬会社
卸業者

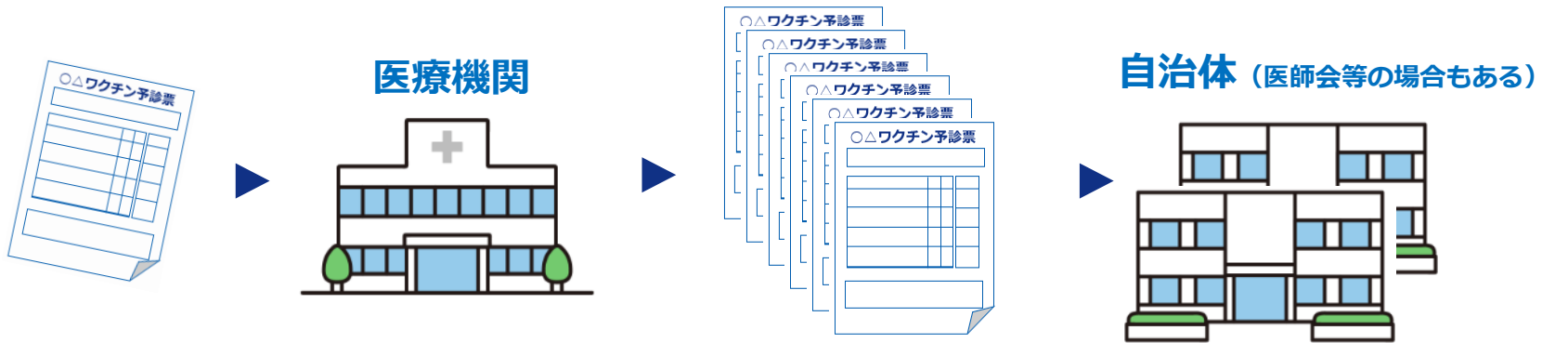
自治体ごと、ワクチンごとに、足下の需給状況と経年データが確認できることで、ワクチン供給量予測・調整等に活用することができる

自治体

自治体の接種状況の把握、他自治体の接種状況との比較が可能になることで、接種勧奨等の住民の接種率向上に向けた取組・広報に活用できる

1-4 デジタル化後の「紙」の予診票の取扱いについて

- とりまとめた紙の予診票は、これまでどおり自治体または入力業務を請け負う医師会等に送付することができます。



A類の対象である乳幼児の保護者については、マイナポータルの利用が多いものと想定されます。



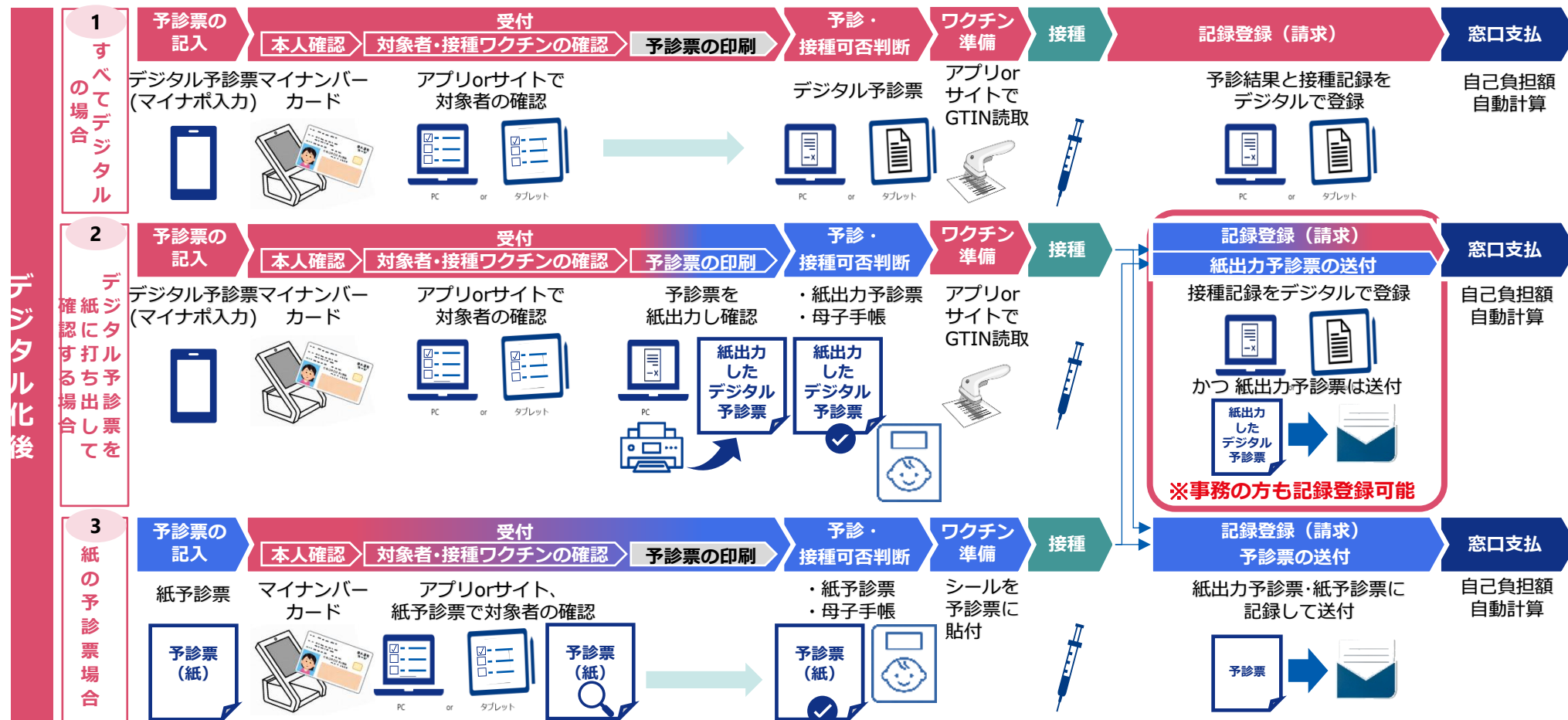
マイナンバー
カード

B類の対象である高齢者については、スマホ経由でのマイナポータル利用率が低い傾向にあり、紙の予診票で受診する傾向が想定されます。

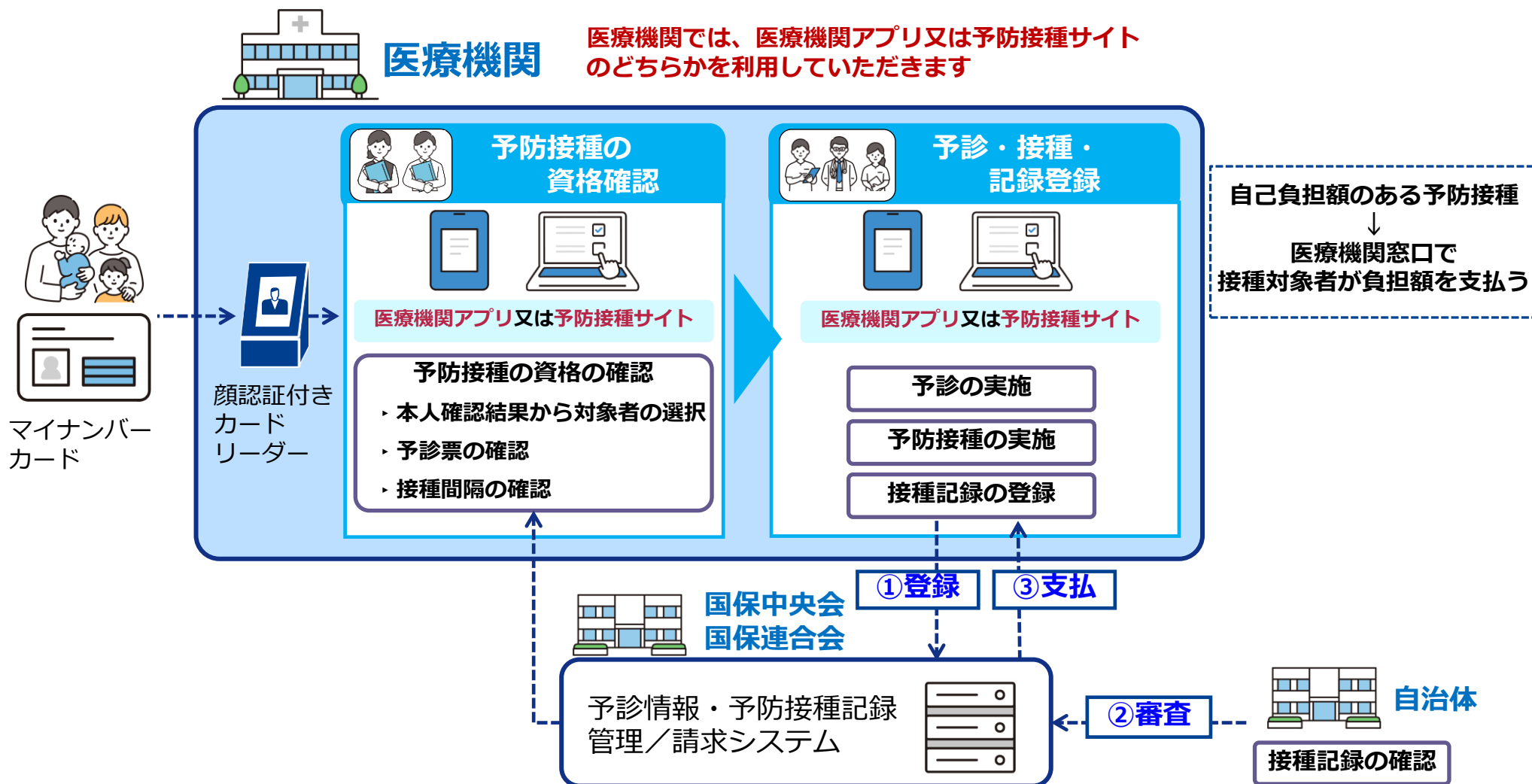


1 - 5 デジタル化後事務フロー

予防接種サイトを利用して予防接種を行う際には、接種対象者（または保護者）が行う予診票入力から接種記録登録・請求までのフローのうち、①すべてデジタルで行うパターン、②デジタル予診票を紙に打ち出して確認するパターン、③紙の予診票で実施するパターンがあります。



1 - 5 デジタル化後事務フロー（全てデジタルで行う場合）



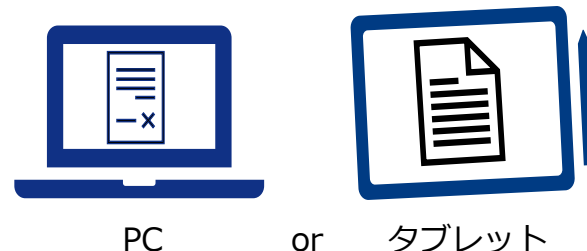
※デジタル予診票を紙に打ち出すことや、従来どおり紙の予診票での接種、予診票による請求を
続けていただくこともできます

1 - 6 医療機関内におけるデジタル予診票への対応方法

- 医療機関でのデジタル化の実現方法として、当面は、**医療機関アプリ**又は**予防接種サイト**のいずれかを選択していただきます。それぞれの概要は下表のとおりです。
- デジタル化にあたっては、医療機関の既存端末等を使っただけの工夫もしつつ、新たに端末等の機器導入が必要となった場合の経費については、補助等の仕組みを現在検討しているところです。今後、詳細が判明したところでご案内申し上げます。
- なお、**電子カルテ改修（特にクラウド型）により、予防接種事務のデジタル化に対応できるよう準備中**です。

	医療機関アプリ	予防接種サイト
使用端末	タブレット端末又はパソコン ※インターネット接続が可能な端末	電子カルテ端末やレセコン端末等 ※オンライン資格ネットワークと接続されている医療機関内の端末
提供する機能	予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムと情報連携しており、 医療機関において、 ・ 住民が登録したデジタル予診票の閲覧 ・ 過去の予防接種記録の閲覧 ・ 予防接種記録の登録 等を行うことができます。	
使用ネットワーク	インターネット	オンライン資格ネットワーク
利用にあたって	医療機関アプリの利用契約は自治体が締結し、アプリ利用料を負担します。 医療機関では、インターネットに接続が可能な端末を用意いただく必要があります。	オンライン資格ネットワークの接続の整備が必要となります。一度接続作業を実施すれば、以後作業が生じることは基本的に想定されません。

医療機関アプリとは



- 医療機関アプリとは、民間事業者が開発したアプリです。予診情報・予防接種記録管理／請求システムとの情報連携の仕様（入出力する情報の項目等）は国において示しており、それに準拠しています。
- 医療機関アプリは、PCまたはタブレットで利用いただけます。
- 医療機関アプリと予予・請求システムとの間は、セキュリティを担保したインターネットを利用しており、医療機関内のオンライン資格確認等システムと接続するためのオンライン資格ネットワークは利用しません。

予防接種事務デジタル化について ～医療機関向け～

業務フロー編

【予防接種サイト】



予防接種サイトとは



予防接種サイト

- 予防接種サイトとは、オンライン資格確認にて利用しているオンライン請求ネットワークと接続されている医療機関内の端末（電子カルテ端末やレセコン端末のこと）を用いて閲覧するサイトのことです。
予診情報・予防接種記録管理／請求システムがサイトの画面を提供します。
- 利用するにあたり、医療機関内のオンライン請求ネットワークの接続の整備が必要となります。

予防接種対象者の受付をしたら、その日に予診・接種するワクチンを選択

受付における本人確認は、
通常診療と同様にマイナンバー
カードと顔認証付きカードリー
ダー等により実施します。



本人確認

医療機関内端末で本人確認済一覧を表示



顔認証付き
カード
リーダー等

医療機関内
端末



受付

予防接種の資格確認



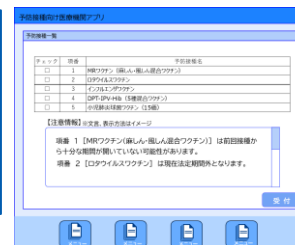
予防接種サイト

1. 資格確認対象者の選択



▶ 本人確認済の予防接種対象者を検索して、選択する

2. 予診票の確認



▶ 接種記録や予
診票の確認を
行う

本人確認の受付日や氏名から検索し、表示の一覧から資格確認を行う者を選択



受付

1. 資格確認対象者の選択

2. 予診票の確認

1. 資格確認対象者の照会

予防接種の資格確認を行うため、受付日や氏名を入力して対象者の一覧を表示します。

受付日を選択

受付済み接種対象者の照会

検索条件

氏名

氏名 (カナ)

受付日 ※必須

今日の日付

～

今日の日付

生年月日

ワクチン通称

期

回数

回数通称

検索

受付済み予防接種対象者の検索画面イメージ

予防接種対象者が回答した予診票から、その日に予診・接種を行うワクチンを選択



受付

1. 資格確認対象者の選択

2. 予診票の確認

2. 予診票を確認する

選択した対象者の接種を予定している予防接種と予診票の一覧が表示されます。予診票未回答の場合は「未回答」と表示されます。

※予診票の回答は事前にマイナポータルで行われています。

- ▶ 一覧には、予防接種の資格情報に関する注意事項（対象期間外の場合や注意すべき接種間隔等）も表示されます。
- ▶ 予防接種の一覧の中から、その日に予診・接種を実施するワクチンを選択して、予診票の受付（＝予診票の確認）を行います。

検索結果 99件が該当しました

全9ページ中4ページ目

< 1 2 3 4/9 5 6 7 ... >

順番	受付日時	氏名	生年月日 年齢	性別	ワクチン 通称	期	回数	回数 通称	デジタル予診票 回答状況	接種記録
1	2024/08/29 12:00:00	田ボウ タロウ 予助 太郎	2023/08/29 11歳11か月 11歳11日	男	インフルエン ザワクチン	1期	2回目	1回目	一部未回答	接種記録 海外接種記録
2	2024/08/29 12:00:00	田ボウ ハナコ 予助 花子	2023/08/29 11歳11か月 11歳11日	女	インフルエン ザワクチン	1期	2回目	1回目	未回答	接種記録 海外接種記録
3	2024/08/29 12:00:00	田ボウ タロウ 予助 太郎	2023/08/29 11歳11か月 11歳11日	男	インフルエン ザワクチン	1期	2回目	1回目	一部未回答	接種記録 海外接種記録
4	2024/08/29 12:00:00	田ボウ タロウ 予助 太郎	2023/08/29 11歳11か月 11歳11日	男	インフルエン ザワクチン	1期	2回目	1回目	回答済み	接種記録 海外接種記録

予診票の検索画面イメージ

ワクチンの情報を確認し、予診を行い接種を実施



ワクチン情報の確認、予防接種の準備

準備室
(看護師)



予防接種サイト

1. ワクチン情報の読み込み

ワクチンのバーコードを
バーコードリーダー等で予防
接種サイトに読み込む



2. ワクチンのチェック

読み込んだワクチンと
予定している予防接種との
一致確認や有効期限等を
システムでチェックする



接種の準備



デジタル予診票を用いての予診・接種

診察室
(医師)



予防接種サイト

3. デジタル予診票による予診

デジタル予診票を確認し
ながら予診を実施し、接
種可否を判断する



接種の実施



※準備室に端末がない場合、診察室でまとめて行います。

接種を行うワクチンのバーコードを読み取り、ワクチン情報を登録



準備室
(看護師)

1. ワクチン情報の
読み込み

2. ワクチンの
チェック

3. デジタル予診票
による予診

1. ワクチン情報の読み込み



バーコード読取を利用する場合は、すべての情報を取得することが可能となるため、入力は不要となる。

「接種方法」「接種部位」は、ワクチンに応じた選択肢が表示される。

バーコードリーダーでバーコードを読み取ることで、製品名、ロット番号、有効期限等の接種する**ワクチン情報が自動で正確に取得**される。
▶ 有効期限を確認し、接種が可能か判断する。

2. ワクチンのチェック

ワクチン情報

バーコード読取

ワクチン情報検索

GTINコード ※必須

14987222000175

ワクチン販売名 ※必須

製造販売元 ※必須

販売元 ※必須

ロット番号 ※必須

01234567890123456789

ワクチン有効期限 ※必須

yyyy/mm/dd

接種量 ※必須

80mg/ml

接種箇所

接種方法 ※必須

その他

接種部位 ※必須

その他

その他（接種方法）

その他（接種部位）

ワクチン情報の登録画面イメージ

※同時接種の場合、ワクチン毎に画面を切り替えて入力が必要

予診票の確認・修正を実施し、医師の判断のもと接種可否を登録



診察室
(医師)

1. ワクチン情報の
読み込み

2. ワクチンの
チェック

3. デジタル予診票
による予診

3. デジタル予診票による予診

■ 予診情報

予診票 追加受付 PDF出力

おたふくかぜ 1項目 インフルエンザワク… 1項目 インフルエンザワク… 1項目 インフルエンザワク… 1項目

△「質問事項」項目の項目5にチェックを入れてください

接種ワクチン情報 予診回答最終更新日時：2025/10/01 12:00:00

ワクチン情報
おたふくかぜ

質問事項

医師確認 ※必須	順番	質問内容	回答	医療機関回答修正	医療機関コメント
☐	1	診察前の体温	36度5分		
☐	2	今回受ける予防接種について市町村から配られている説明書を読みましたか	はい いいえ	はい	
☐	3	今回の予防接種について質問がありますか	はい いいえ 備考表示	はい	

医療機関側で予診内容の修正（例えば体温など）や医師コメントがあれば追記する

一括チェックも可能

■ 接種可否

接種可否

接種同意の委任フラグ
委任あり

接種への同意 ※必須
☒ 同意する ☐ 同意しない

接種実施可否 ※必須
☒ 接種可能 ☐ 接種見合わせ

予防接種を行えなかった理由

医師名 ※必須

戻る 一時保存 登録 接種記録画面に進む

当日の予診を行い「接種への同意」「接種実施可否」を選択する
医師名はキーワード入力によりマスタから候補の医師を表示する
(例えば「予」と入力すると「予防一郎」が表示される)

※同時接種の場合、画面を切り替えて入力が必要

接種記録を登録し、窓口支払額を確認し請求



接種記録の作成・登録



予防接種サイト

予防接種サイトに入力されているワクチン名、ロット番号等を確認の上、接種部位、接種量等を入力して、記録登録ボタンを押下する



接種記録を登録すると、自動的に請求処理となります

- ▶ 登録した接種記録は予防接種サイトで修正可能
- ▶ デジタル予診票の内容も予防接種サイトで閲覧可能



窓口支払



予防接種サイト

予防接種対象者の減免資格情報や、居住自治体の委託単価情報を参照し、窓口支払額が自動計算される



自動的に窓口支払額が計算されます

- ▶ 自己負担額のある予防接種については医療機関窓口で予防接種対象者へ負担額を請求する

接種記録の自動入力・費用請求

1. 接種記録の作成・登録・費用請求

2. 窓口支払



診察室
(医師)

1. 接種記録の作成・登録・費用請求

■ 基本情報 赤枠は初期表示あり

実施日 ※必須
yyyy/mm/dd 他 今日の日付

実施場所（医療機関コード） ※必須 医師名 ※必須
〇〇病院 (0123456789) 予防一郎

医師名はキーワード入力によりマスタから候補の医師名を表示する（例えば「予」と入力すると「予防一郎」が表示される）

■ 接種共通情報 赤枠は初期表示あり

時間外・休日
☒ 時間外 ☐ 休日 ☐ 該当なし

接種対象者区分の訂正
☒ 高齢者定期接種対象 ☒ 長期療養区分

修正理由

減免区分の訂正
☒ 生活保護 ☐ 非課税 ☐ 中国残留邦人 ☐ 障がい ☐ その他

修正理由

■ 接種個別情報 赤枠は初期表示あり

インフルエンザワクチン 1回目 インフルエンザワクチン 1回目 おたふくかぜ 1回目

△ 接種部位を入力してください

予防接種管理番号 ※必須
123456789

ワクチン選択 ※必須 期 ※必須

回数 ※必須 回数選択 ※必須

実施区分
☒ 個別 ☐ 集団

接種区分
☒ 接種 ☐ 予防のみ

予防接種を行えなかった理由

■ ワクチン情報 (※)

GTINコード ※必須
14987222000175

ワクチン販売元 ※必須

製造販売元 販売元

ロット番号 ※必須 ワクチン有効期限 ※必須
01234567890123456789 yyyy/mm/dd 他

接種量 ※必須
80 mg/ml

接種箇所
接種方法 ※必須 接種部位 ※必須
その他 その他

その他（接種方法） その他（接種部位）

(※) 準備室でバーコード読み取りをしている場合、入力は不要

窓口支払額を確認し、自己負担額を接種対象者に請求

1. 接種記録の作成・登録・費用請求

2. 窓口支払

2. 窓口支払



受付

窓口支払対象者の一覧画面イメージ

検索結果 99件が該当しました

全9ページ 4ページ目

1 2 3 4 / 9 5 6 7 ... > >>

順番	氏名	性別	生年月日 年齢	受付日時	実施日	会費照会
1	田中 太郎 予約 太郎	男	2023/08/29	2024/10/29		金額照
2	田中 太郎 予約 太郎	男				
3	田中 太郎 予約 太郎	男				
4	田中 太郎 予約 太郎	男				
5	田中 太郎 予約 太郎	男				
6	田中 太郎 予約 太郎	男				

項番	契約状況			資格情報						請求情報		
	自治体名	ワクチン通称/ワクチン販売名	期	法定区分	年齢加算区分	時間外加算	性別	接種区分	減免対象区分	接種対象者区分	委託料/助成額	窓口支払額
1	〇〇市	日本脳炎ワクチン/エンセバック皮下注用	1期	定期	0歳0か月～4歳11か月	加算なし	男	接種済み	-	-	2,000円	3,500円
2	××市	インフルエンザワクチン/インフルエンザHAワクチン「KMB」	1期	任意	5歳0か月～7歳12か月	時間外加算あり	男	予約のみ	生活保護	高齢者	1,500円	3,500円
3	◇◇市	おたふくワクチン/おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」	1期	臨時	0歳0か月～4歳11か月	休日加算あり	男	予約のみ	非課税	長期療養	1,500円	3,500円
4	△△市	日本脳炎ワクチン/エンセバック皮下注用	1期	定期	5歳0か月～7歳12か月	加算なし	男	接種済み	中国残留邦人	-	2,000円	3,500円
5	□□市	インフルエンザワクチン/インフルエンザHAワクチン「KMB」	1期	任意	0歳0か月～4歳11か月	時間外加算あり	男	接種済み	障がい者	-	1,500円	3,500円
6	●〇市	おたふくワクチン/おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」	1期	臨時	5歳0か月～7歳12か月	休日加算あり	男	接種済み	その他	高齢者	1,500円	3,500円
7	○●市	日本脳炎ワクチン/エンセバック皮下注用	1期	定期	0歳0か月～4歳11か月	加算なし	男	接種済み	-	長期療養	2,000円	3,500円
8	◆◇市	インフルエンザワクチン/インフルエンザHAワクチン「KMB」	1期	任意	5歳0か月～7歳12か月	時間外加算あり	男	接種済み	生活保護	-	1,500円	3,500円
9	△▼市	おたふくワクチン/おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」	1期	臨時	0歳0か月～4歳11か月	休日加算あり	男	接種済み	非課税	-	1,500円	3,500円
10	○×市	日本脳炎ワクチン/エンセバック皮下注用	1期	定期	5歳0か月～7歳12か月	加算なし	男	接種済み	中国残留邦人	高齢者	2,000円	3,500円

請求情報詳細の照会画面イメージ

窓口支払額が自動計算されるため事務負担が削減

予防接種サイト利用イメージ（完全デジタルver./ 予診票印刷ver.補足）

接種対象者（または保護者）がマイナポータルに表示されたデジタル予診票を入力・送信し、院内ではそのデジタル予診票を使って、すべてデジタルで対応する際のフロー及び操作をベースに、重要箇所を抜粋した説明資料です。

- 【受付（本人確認）】



受付は、①すべてデジタルで行うパターン、②デジタル予診票を紙に打ち出して確認するパターン、③紙の予診票で実施するパターン、すべて共通です。

【受付】 本人確認

マイナ保険証で本人確認を行います



受付は、通常の診療と同じくマイナ保険証をカードリーダーに置いて操作いただきます。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

デジタル予診票を紙出力して利用する場合も、本人確認はマイナ保険証で行います。



【受付】 本人確認

来院目的を確認し必要な書類を受け取ります



来院目的を確認します。
予防接種のために来院された方からは、母子手帳を受け取ります。

マイナポータルの予診票回答状況を確認するために予防接種サイトにログインします。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

デジタル予診票を紙出力して利用する場合も、予防接種のために来院した方の受付をするためには、予防接種サイトを使います。



- 【受付（対象者・接種ワクチンの確認）】



受付（対象者・接種ワクチンの確認）は、①すべてデジタルで行うパターン、②デジタル予診票を紙に打ち出して確認するパターン、③紙の予診票で実施するパターンすべて共通ですが、パターン②では、受付処理の最後に、デジタル予診票を紙に打ち出します。

【受付】対象者・接種ワクチンの確認

予防接種を受けに来た方を選択します

検索結果 20件が該当しました

全2ページ中1ページ目

1 / 2 2 > >>

対象	項番	受付日時	フリガナ 氏名	性別	生年月日 年齢
☒	1	2026/05/07 17:59:00	フシミトオル 伏見亨	男	1961/01/30 65歳3か月 1週4日
☐	2	2026/05/07 17:59:00	ゴトウサイコ 後藤彩子	女	2013/03/06 13歳2か月 0週5日
☐	3	2026/05/07 17:59:00	アカサカヒサノリ 赤坂尚範	男	1962/04/02 64歳1か月 1週2日
☐	4	2026/05/07 17:59:00	マサダヨシヒロ 増田克宏	男	1961/04/01 65歳1か月 1週3日
					2025/02/08

検索結果の画面には、当日マイナ保険証で受付した方すべてが表示されます（予防接種のために来院された方だけではなく、通常診療のために来院された方も表示されます）

検索結果一覧の中から、予防接種で来院された方を選び、「対象」欄のボタンにチェックを入れます。

複数の方をまとめてチェックすることもできます。

※表示順は当日受け付けた順となっていますが、新たに受付た人が一番上になるよう、並び替えることも可能です。受付日時の「↑↓」をクリックしてください。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

すべてデジタルの場合と同じです。



【受付】対象者・接種ワクチンの確認

受付済の受診者の予防接種の一覧が表示されるのでデジタル予診票の回答状況が「回答済み」であることを確認します

検索結果 1件が該当しました

全1ページ中1ページ目

ワクチンの種類や回数等
はここで確認できます。

項番	受付日時	フリガナ 氏名	生年月日 年齢	性別	ワクチン 通称	期	回数	回数 通称	デジタル予診 票 回答状況	接種記録
1	2026/05/11 14:49:18	タカギマサル 高木勝	2026/01/21 0歳3か月2週 6日	男	五種混合 (D PT-I P V- H i b)	1期	2回目	一期初回 2回目	回答済み	接種記録 海外接種記録
					B型肝炎		2回目	2回目		
					小児肺炎球菌 (15価)		2回目	2回目		
					ロタウイルス (5価)		2回目	2回目		

戻る

表示された検索結果から対象者の氏名、生年月日、今日接種を予定しているワクチンの種類や回数などを確認します。
誤りがなかったら、「デジタル予診票（マイナポータルで入力・送信された予診票のことです）回答状況」欄が「回答済み」となっているかを確認します。

「回答済み」ボタンをクリックすると、予診票が表示されます。

「デジタル予診票回答状況」欄が「一部回答」や「未回答」となっていた場合は、接種対象者のマイナポータルで入力・送信しなおして頂いたのち、再度受付に来ていただくようお願いし、次の方の受付処理を行ってください。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

すべてデジタルの場合と同じです。



- 【予診・接種可否判断】



医師は、紙出力した予診票を見ながら予診・接種可否判断を行い、その結果を紙出力した予診票に記載しますので、

【予診・接種可否判断】について予防接種サイトに入力する必要はありません。

※本人が入力した状態の予診票データは、デジタルが原本となります。

【予診・接種可否判断】 接種可否判断

デジタル予診票に基づいて予診を行い、医師確認欄にチェックを入れます

The screenshot shows a digital form titled '接種ワクチン情報' (Vaccination Information) and '質問事項' (Questions). The form is for a '五種混合 (DPT-IPV-Hib)' vaccine. It includes a table with columns for '医師確認' (Doctor Confirmation), '質問内容' (Question Content), '回答' (Answer), '医師確認回答修正' (Doctor Confirmation Answer Correction), and '医師確認コメント' (Doctor Confirmation Comment). The table has three rows of questions, each with a red box and a red arrow pointing to a 'はい' (Yes) checkbox. The first row is about the purpose of the vaccination, the second is about the patient's condition, and the third is about the date of the vaccination. At the bottom, there is a red box with a red arrow pointing to a 'すべてを確認済にする' (Mark all as confirmed) checkbox.

医師確認 ※必須	質問内容	回答	医師確認回答修正	医師確認コメント
☒	1 予防接種の記録は、以下のとおり取り扱われることに同意します。本予診票が、予防接種の安全性の確保を目的として、自治体及び予防接種を実施する医療機関に提供されること、自治体が発行する過去の接種記録が、予防接種の安全性の確保を目的として、予防接種を実施する医療機関に提供されること、今回の予防接種によって医療機関が作成	☐ 同意する ☐ 同意しない ☐ 拒否		
☒	4 診察前の経過			
☒	6 1回目の接種年月日			

☒ すべてを確認済にする

予診票の内容を確認・修正したら、「医師確認欄」にチェックを付けてください。

画面左下の「すべてを確認済みにする」にチェックを入れることで、まとめてチェック済みにすることもできます。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

この操作は不要です。

紙出力
した
デジタル
予診票

【予診・接種可否判断】 接種可否判断

すべての予診を確認後、接種可否判断を行います

The screenshot shows a web form for vaccination eligibility judgment. Key elements and annotations include:

- Form Fields:** A table for patient information with checkboxes for symptoms and temperature. Below it, a section for '接種可否' (Vaccination Eligibility) with radio buttons for '接種可能' (Vaccination Possible) and '接種見合わせ' (Vaccination Hold). At the bottom, there is a '医師名' (Doctor Name) field with 'デジタル太郎' (Digital Taro) entered, and buttons for '一時保存' (Save Draft), '登録' (Register), and '接種記録画面に進む' (Go to Vaccination Record Screen).
- Callout 1 (Top):** 「接種見合わせ」を選択した状態で「登録」をクリックすると、「予診のみ」の接種記録が自動登録されますので、ご注意ください。
- Callout 2 (Middle):** 一度「一時保存」または「登録」ボタンをクリックせずに「接種記録画面に進む」をクリックすると内容が初期化されますので、ご注意ください。
- Annotations:** A red box highlights the 'デジタル太郎' field with the note '医師名 ※必須 医師名を入力してください。'. A red arrow points to the '登録' button.

最後に、接種可否を判断し、「接種可能」または「接種見合わせ」のどちらかにチェックを入れてください。医師名は過去に入力した医師の名前から選択することができます。紙の予診票のように署名する必要はありません。医師名に誤りがないことを確認したら、画面右下の「登録」をクリックしてください。

これで接種可否判断の作業は完了となります。予防接種の準備を行ってください。

※「登録」や「一時保存」をクリックせずに、「接種記録画面に進む」をクリックすると、内容が保存されず初期化されてしまいますので、ご注意ください。

※接種可否判断は必ず医師が行ってください。「接種記録登録に進む」ボタンは、医師のID・パスワードでログインしていない場合は、クリックできません。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

この操作は不要です。



- 【ワクチン準備（ワクチン情報・バーコード読み取り）】



紙出力した予診票を使う場合は、【記録登録（請求）】に進んでいただきます。記録登録画面を立ち上げたのち、ワクチン情報を入力します。

【ワクチン準備（ワクチン情報バーコード読み取り）】

ワクチン情報をバーコードで読み取る画面を開きます

The screenshot shows a web application for entering vaccination information. The title is "接種個別情報" (Vaccination Individual Information). Below it, there's a section for "五種混合 (DPT-IPV-Hib)" with a sub-note "一期別1回接種". The form includes several fields: "予防接種管理番号 ※必須" (Vaccination Management Number) with the value "001010001", "ワクチン名称 ※必須" (Vaccine Name) with the value "五種混合 (DPT-IPV-Hib)", and "回数 ※必須" (Number of doses) with the value "1回". There are radio buttons for "実施区分" (Implementation Category) with "個別" (Individual) selected, and "接種区分" (Vaccination Category) with "接種" (Vaccination) selected. A callout box points to the "予診のみ" (Only consultation) option under "接種区分", stating: "紙出力した予診票を利用する場合は、予診票画面 (P.25) では接種可否判断を登録しないため、接種記録登録画面にて「予診のみ」を選択してください。 「予診のみ」の際は、ワクチン情報の入力は不要です。". At the bottom, there's a "ワクチン情報" (Vaccine Information) section with a "バーコード読み取り" (Barcode Reading) button highlighted by a red arrow and a "ワクチン情報検索" (Vaccine Information Search) button. A "GTINコード" (GTIN Code) field is also present.

「接種記録の登録・修正」画面を下にスクロールし、ワクチン情報の右横に表示されている「バーコード読み取り」ボタンをクリックします。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

ワクチン情報の入力方法はデジタルの場合と同じです。

※「予診のみ」の場合は「接種区分」で「予診のみ」にチェックし、「予防接種を行えなかった理由」を記入して登録してください。その際、ワクチン情報の入力は不要です。

紙出力した
デジタル
予診票

【ワクチン準備（ワクチン情報バーコード読み取り）】

バーコードを読み取ります



「バーコード読取」ボタンをクリックすると、バーコード読み取り画面が開くので、バーコードリーダーを使ってワクチンの箱に付いているバーコードを読み取ります。

バーコードの読み取りが完了し、正しく英数字の羅列が表示されたら「確定」ボタンをクリックします。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

ワクチン情報の入力はデジタルの場合と同じです。

紙出力
した
デジタル
予診票

【ワクチン準備（ワクチン情報バーコード読み取り）】

読み取ったワクチン情報は自動的に入力されます

接種個別情報

五種混合 (DPT-IPV-Hib)
→ 第3回 1回接種

ワクチン情報 バーコード読み取り ワクチン情報検索

GTINコード ※必須
14987128151544

ワクチン販売名 ※必須
ゴベック水性懸濁注シリンジ

製造販売元 販売元
阪大微生物研究会 (一財) 田辺ファーマ (株)

ロット番号 ※必須 ワクチン有効期限 ※必須
5K99A 2025/04/17

接種量 ※必須
0.5 mg/ml

バーコードで読み取ったワクチン情報が自動で入力されるので、内容に間違いがないかご確認ください。

「確定」ボタンをクリックすると、バーコードから読み取った

- ・「GTINコード」
- ・「ワクチン販売名」
- ・「製造販売元」
- ・「販売元」
- ・「ロット番号」
- ・「ワクチン有効期限」
- ・「（標準的な）接種量」

が自動入力されます。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

ワクチン情報の入力はデジタルの場合と同じです。

紙出力
した
デジタル
予診票

【ワクチン準備（ワクチン情報バーコード読み取り）】

ワクチン情報を一時保存することで、ワクチン準備は完了となります

The screenshot shows a web form for vaccination preparation. It includes fields for dosage (0.5 mg/ml), injection site (皮下接種), injection method (皮下接種), and injection site (左下肢). There are buttons for '一時保存' (Save Temporarily) and '登録' (Register). Annotations highlight the '一時保存' button and the '登録' button, explaining that the '一時保存' button is used for temporary saving and the '登録' button is used for final registration.

接種量 ※必須
0.5 mg/ml
接種量は自動入力されますが、必ず医師がご確認ください。

接種箇所
※口ワクチンを接種時は、接種部位で「その他」を選択し、備考欄に「口」と入力してください。

接種方法 ※必須
皮下接種
接種部位 ※必須
左下肢
接種方法と接種部位は、プルダウンメニューから適切なものを選択してください。

間違い接種・同時接種・システム外請求

備考
ワクチン準備段階では、必ず「一時保存」ボタンをクリックしてください。
「登録」ボタンをクリックしますと、記録登録が完了となってしまいますので、ご注意ください。

接種後に本作業を実施する場合は、「登録」ボタンをクリックしてください。

接種量は、標準的な値が自動入力されますが、医師が必ず確認してください。

接種方法、接種部位は、プルダウンメニューから適切なものを選択してください。

ワクチン情報の入力内容に間違いがないか最終確認し、必ず「一時保存」ボタンをクリックしてワクチン準備を完了してください。

※「登録」ボタンをクリックすると、記録登録が完了となってしまいますので、ご注意ください。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

「接種量」「接種方法」「接種部位」は、紙出力した予診票に医師が記入してください。記入情報を基にシステムに入力します。
接種後に接種記録を登録する場合は、「一時保存」ボタンではなく「登録」ボタンをクリックし、そのままの【記録登録・請求】へ進み記録登録を完了してください。



【ワクチン準備（ワクチン情報バーコード読み取り）】接種間隔チェック

《参考》ワクチン接種実施前に、接種間隔のチェックが可能です

The screenshot shows a web application for vaccination records. At the top, there is a navigation bar with a menu icon, the title '予予・請求システム', and user information for '上村区民' (Municipal Resident of Kamakura City). Below the navigation bar, there is a breadcrumb trail: 'ホーム > 受診済み接種対象者の検索 > 接種記録の登録・修正'. The main heading is '接種記録の登録・修正'. A yellow warning box contains the message: '接種記録の登録・請求の登録に失敗しました。' (Registration of vaccination record/request failed). Below this, two bullet points explain the error: '直近に受けた注射生ワクチンの予防接種から27日以上間隔が空いていません。' (Interval of 27 days or more has not elapsed since the last received injection live vaccine preventive vaccination) and '「特別の事情」「特別の事情（医師補記）」を入力してください。' (Please enter 'Special circumstances' or 'Special circumstances (Physician's supplementary notes)'). Below the warning box is a section titled '基本情報' (Basic Information).

「一時保存」または「登録」ボタンをクリックした際、接種間隔に問題がある場合は、ワーニング（警告）が表示されます。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

記録登録を接種後に実施する場合は、システムによる接種間隔チェックのワーニング機能は働きませんので、**接種間隔は母子健康手帳等で確認してください。**



- 【記録登録（請求）】



紙出力した予診票を利用する場合も、【記録登録（請求）】は予防接種サイトで行います。

接種記録を登録することで、請求情報も自動生成されます。

【記録登録（請求）】

接種対象者を検索します



検索結果 1件が該当しました

全1ページ中1ページ目

項番	受付日時	フリガナ 氏名	生年月日 年齢	性別	ワクチン 通称	期	回数	回数 通称	デジタル予診票 回答状況	接種記録
1	2026/05/11 11:06:58	ハタヤママイ 畑山舞	2026/01/30 0歳3か月1週 4日	女	五種混合（D PT-I P V- H i b）	1期	2回目	一期初回 2回目	回答済み	接種記録 海外接種記録

戻る

検索結果の画面で、対象者の氏名、生年月日、今日接種を予定しているワクチンの種類や回数などを確認します。

対象者に誤りがなければ、「接種記録」ボタンをクリックし、「接種記録の登録・修正」画面に遷移します。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

ワクチン情報入力後、予防接種サイトを閉じ、改めて接種記録を登録する場合は、接種対象者を選択後、接種記録画面を立ち上げます。操作方法はデジタルの場合と同じです。

紙出力
した
デジタル
予診票

【記録登録（請求）】

ワクチン情報に誤りが無いか確認します

接種個別情報

五種混合（DPT-IPV-Hib）
一期別（1回目）

ワクチン情報

バーコード読取

ワクチン情報検索

GTINコード ※必須

14987128151544

ワクチン販売名 ※必須

ゴービック水性懸濁注シリンジ

製造販売元

阪大微生物病研究会（一財）

販売元

田辺ファーマ（株）

ロット番号 ※必須

5K99A

ワクチン有効期限 ※必須

2025/04/17

接種量 ※必須

0.5

mg/ml

ワクチン準備の際に一時保存したワクチン情報に誤りが無いか確認してください。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

ワクチン情報に誤りが無いか確認してください。

紙出力
した
デジタル
予診票

【記録登録（請求）】

ワクチン情報に誤りが無いか確認し、問題なければ接種記録を登録します

接種量 ※必須
0.5 mg/ml

接種箇所
※口タワクチンを接種時は、接種部位で「その他」を選択し、備考欄に「口」と入力してください。

接種方法 ※必須
皮下接種

接種部位 ※必須
左下肢

間違い接種・同時接種・システム外請求

備考

戻る 一時保存 登録

ワクチン情報の入力内容に間違いがないか最終確認し、「登録」ボタンをクリックして接種記録登録を完了させてください。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

入力した内容に差異がないかを確認したうえで「登録」ボタンをクリックします。



【記録登録（請求）】

記録登録が完了し、請求情報が自動生成されます

ホーム > 予防接種の受付 > 受付済み接種対象者の照会 > 接種記録の登録・修正

接種記録の登録・修正

✓ 接種記録の登録・請求が完了しました。

最終更新日時：2026/05/11 11:41:49 最終更新者：神戸中央病院 木下 管理者

登録 ステータス	審査請求 ステータス	支払日	請求日	審査結果	保留区分	過誤
登録完了	審査待ち（新規）		2026/05/11	—	—	—

登録漏れなどがない場合は、「**接種記録の登録・請求が完了しました**」というメッセージが表示されます。

これで接種記録の登録は完了です。

接種記録を登録することで、請求情報が自動生成されますので、**これまでのように紙の予診票を自治体ごとに仕分けしたり、ワクチンごとの件数を数えたりする必要はありません。**

※接種記録を登録したら、自治体への請求情報（支払関連帳票）が作成されます。

※医療機関では、月次で作成された帳票から請求額、請求明細を確認することができます。

■デジタル予診票を紙出力して利用する場合

この画面が表示されたら、接種記録登録は完了です 

※接種記録を登録することで、請求情報が自動生成されます

※紙出力した予診票を自治体に提出してください。



- 【窓口支払】



接種記録を予防接種サイトに登録することで、本人支払額（確定金額）を確認することができます。

窓口支払額を確認し、自己負担額を接種対象者に請求



受付

1. 接種記録の作成・登録・費用請求

2. 窓口支払

2. 窓口支払

検索結果 99件が該当しました

全ページ 1/4ページ目

1 2 3 4/9 5 6 7 - 8 9

番号	氏名	性別	生年月日	受付日時	実施日時	接種回数
1	田中 一郎	男	2023/08/29	2024/10/29		1
2	田中 一郎	男				2
3	田中 一郎	男				3
4	田中 一郎	男				4
5	田中 一郎	男				5
6	田中 一郎	男				6

窓口支払対象者の一覧画面イメージ

契約状況				費用情報						請求情報	
自治体名	ワクチン通称/ワクチン販売名	期	法定区分	年齢区分	時間外等加算	性別	接種区分	減免対象区分	接種対象区分	委託料/助成額	窓口支払額
1	〇〇市 日本脳炎ワクチン/エンセバック皮下注用	1期	定期	0歳0か月～4歳11か月	加算なし	男	接種済み	-	-	2,000円	3,500円
2	××市 インフルエンザワクチン/インフルエンザHAワクチン「IXIB」	1期	任意	5歳0か月～7歳12か月	時間外加算あり	男	予診のみ	生活保護	高齢者	1,500円	3,500円
3	△△市 おたふくワクチン/おたふくぜ生ワクチン「第一三共」	1期	臨時	0歳0か月～4歳11か月	休日加算あり	男	予診のみ	非課税	長期療養	1,500円	3,500円
4	△△市 日本脳炎ワクチン/エンセバック皮下注用	1期	定期	5歳0か月～7歳12か月	加算なし	男	接種済み	中国帰国者	-	2,000円	3,500円
5	□□市 インフルエンザワクチン/インフルエンザHAワクチン「IXIB」	1期	任意	0歳0か月～4歳11か月	時間外加算あり	男	接種済み	障がい者	-	1,500円	3,500円
6	●●市 おたふくワクチン/おたふくぜ生ワクチン「第一三共」	1期	臨時	5歳0か月～7歳12か月	休日加算あり	男	接種済み	その他	高齢者	1,500円	3,500円
7	〇〇市 日本脳炎ワクチン/エンセバック皮下注用	1期	定期	0歳0か月～4歳11か月	加算なし	男	接種済み	-	長期療養	2,000円	3,500円
8	◆◆市 インフルエンザワクチン/インフルエンザHAワクチン「IXIB」	1期	任意	5歳0か月～7歳12か月	時間外加算あり	男	接種済み	生活保護	-	1,500円	3,500円
9	△△市 おたふくワクチン/おたふくぜ生ワクチン「第一三共」	1期	臨時	0歳0か月～4歳11か月	休日加算あり	男	接種済み	非課税	-	1,500円	3,500円
10	〇〇市 日本脳炎ワクチン/エンセバック皮下注用	1期	定期	5歳0か月～7歳12か月	加算なし	男	接種済み	中国帰国者	高齢者	2,000円	3,500円

請求情報詳細の照会画面イメージ

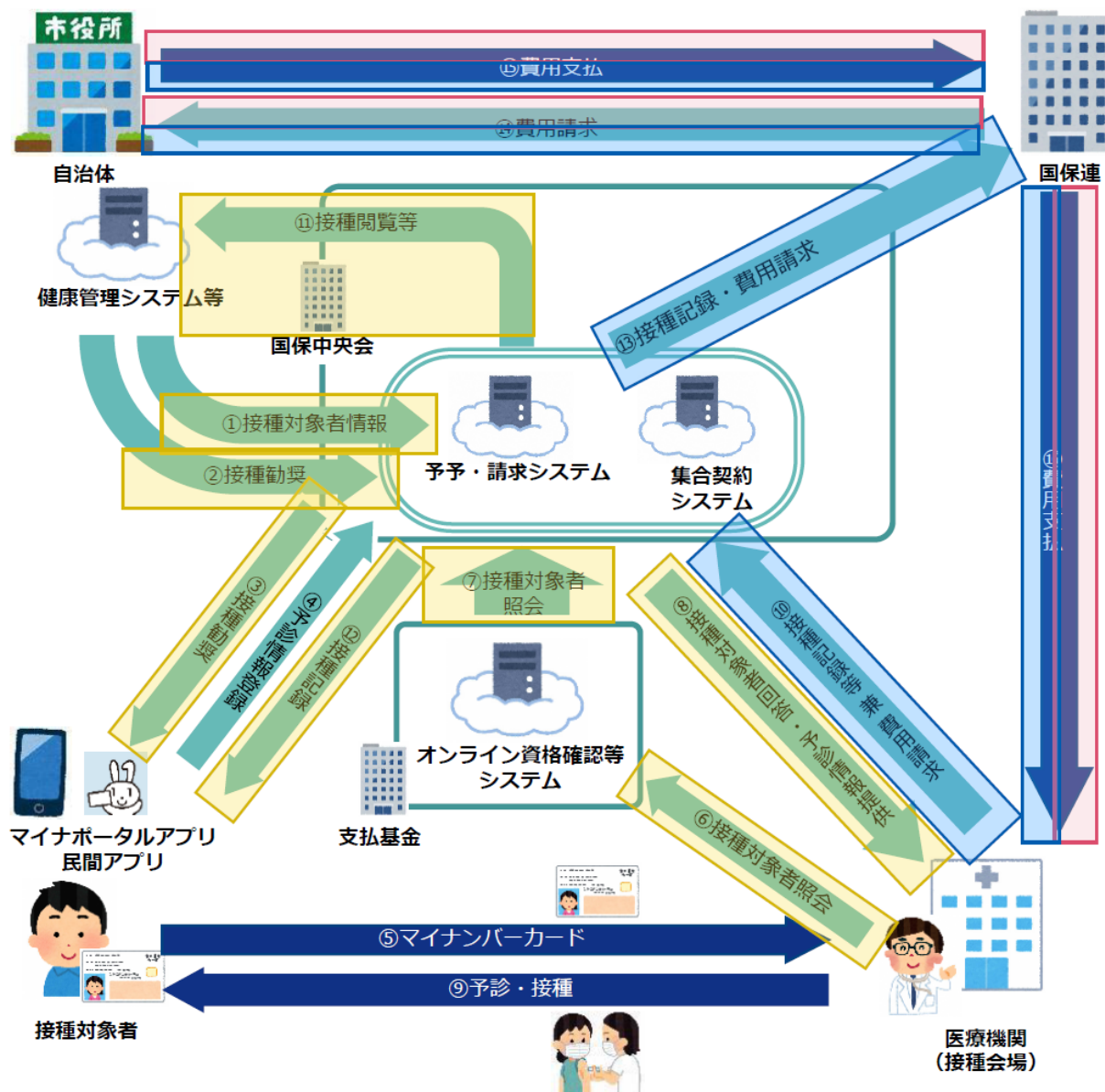
窓口支払額が自動計算されるため事務負担が削減

2 - 1 集合契約の概要

- 予防接種事務デジタル化では、①デジタル化対応予防接種委託契約（集合契約）、②予防接種事務委託契約、③支払事務委託契約の3つの契約を締結する必要があります。集合契約はシステム上で委任申請を行います。
- また、集合契約システムと予予・請求システムの利用にあたり、自治体及び医療機関は④システム利用規約同意書を国保中央会に提出する必要があります。

#	契約/利用規約	契約主体	概要
①	集合契約（デジタル化対応予防接種委託契約）	（医療機関側） 日本医師会 都道府県 郡市区医師会 医療機関 （自治体側） 厚生労働省 都道府県 市区町村	デジタル化に伴い、風しん5期や新型コロナウイルスに係る予防接種委託契約と同様、全国の医療機関と全国の自治体間で、予防接種委託契約の集合契約を締結します。集合契約を締結することにより、里帰り出産等により、やむを得ず住所地外接種が必要となる場合には、事前申請等の現在の手続きが不要となります。
②	予防接種事務委託契約	（委託先） 国保連合会 （再委託先） 国保中央会 （委託元） 市区町村	自治体と国保連合会との間で、特定個人情報の取扱いを含む、定期の予防接種等に係る対象者等の情報の収集、整理、利用、提供に関する事務に係る契約を締結します。契約書と合わせて、委託先から提出される再委託申請書に対して許諾していただきます。
③	支払事務委託契約	（委託先） 国保連合会 （委託元） 市区町村	風しん5期や新型コロナウイルスに係る接種委託契約と同様、市区町村と国保連合会の間で、予防接種委託費の医療機関への支払事務に係る契約を締結します。
④	システム利用規約同意書	（医療機関側） 医療機関 （自治体側） 市区町村	集合契約システムと予予・請求システムの利用規約同意書を国保中央会に提出する必要があります。

2-2 各業務と契約の対応関係



デジタル化対応予防接種委託契約（集合契約）

- ⑩⑬ 医療機関から予予・請求システムを経由して国保連合会への記録登録兼費用請求
- ⑭ 国保連から自治体への費用請求
- ⑮ 自治体から国保連への費用支払
- ⑯ 国保連から医療機関への費用支払業務

予防接種事務委託契約

①③⑥⑦⑧⑪⑫

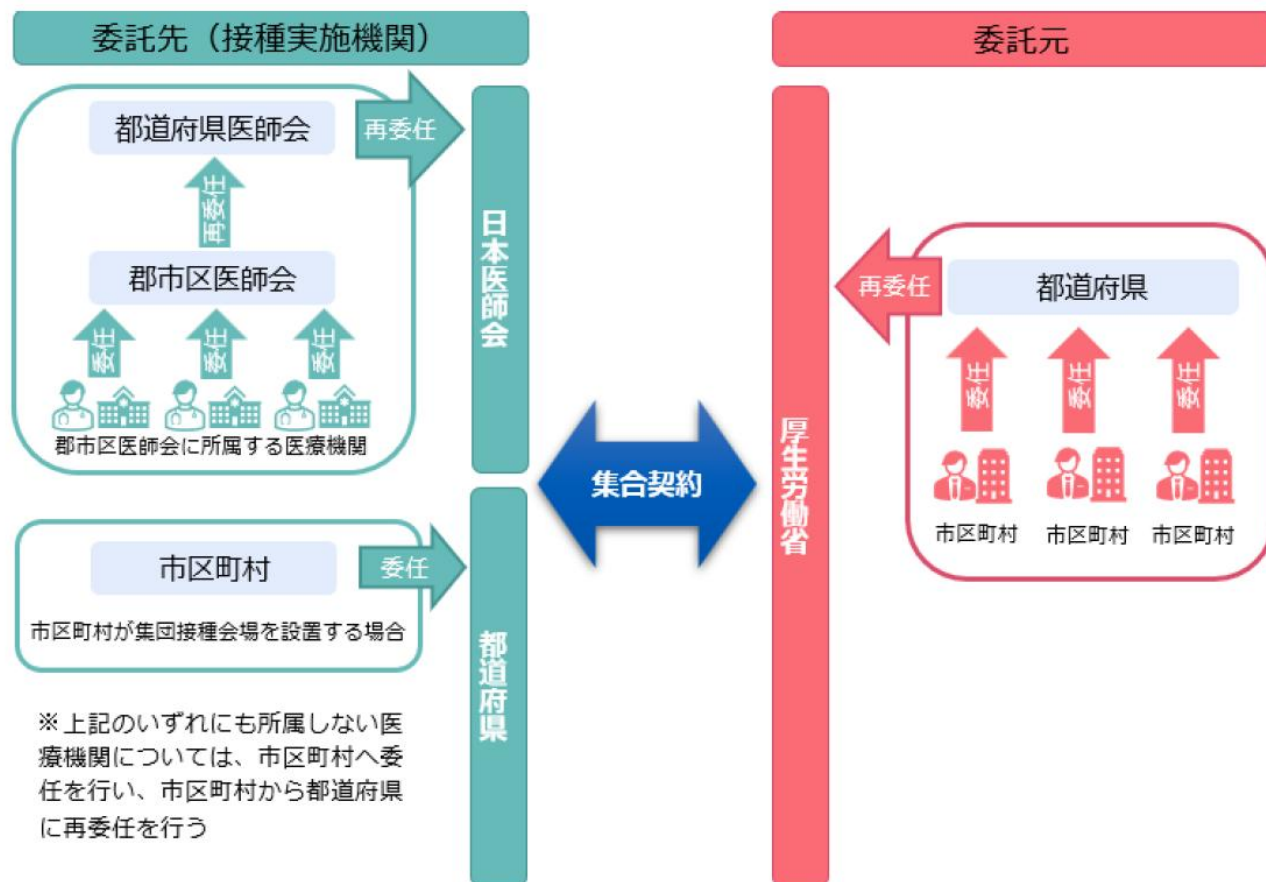
定期の予防接種等の実施事務等に係る、当該定期予防接種等の対象者、又はその保護者に係る情報の収集・整理・利用・提供に関する事務（特定個人情報の取扱いを含む）

支払事務委託契約

- ⑭ 国保連から自治体への費用請求業務
- ⑮ 自治体から国保連への費用支払業務
- ⑯ 国保連から医療機関への費用支払業務

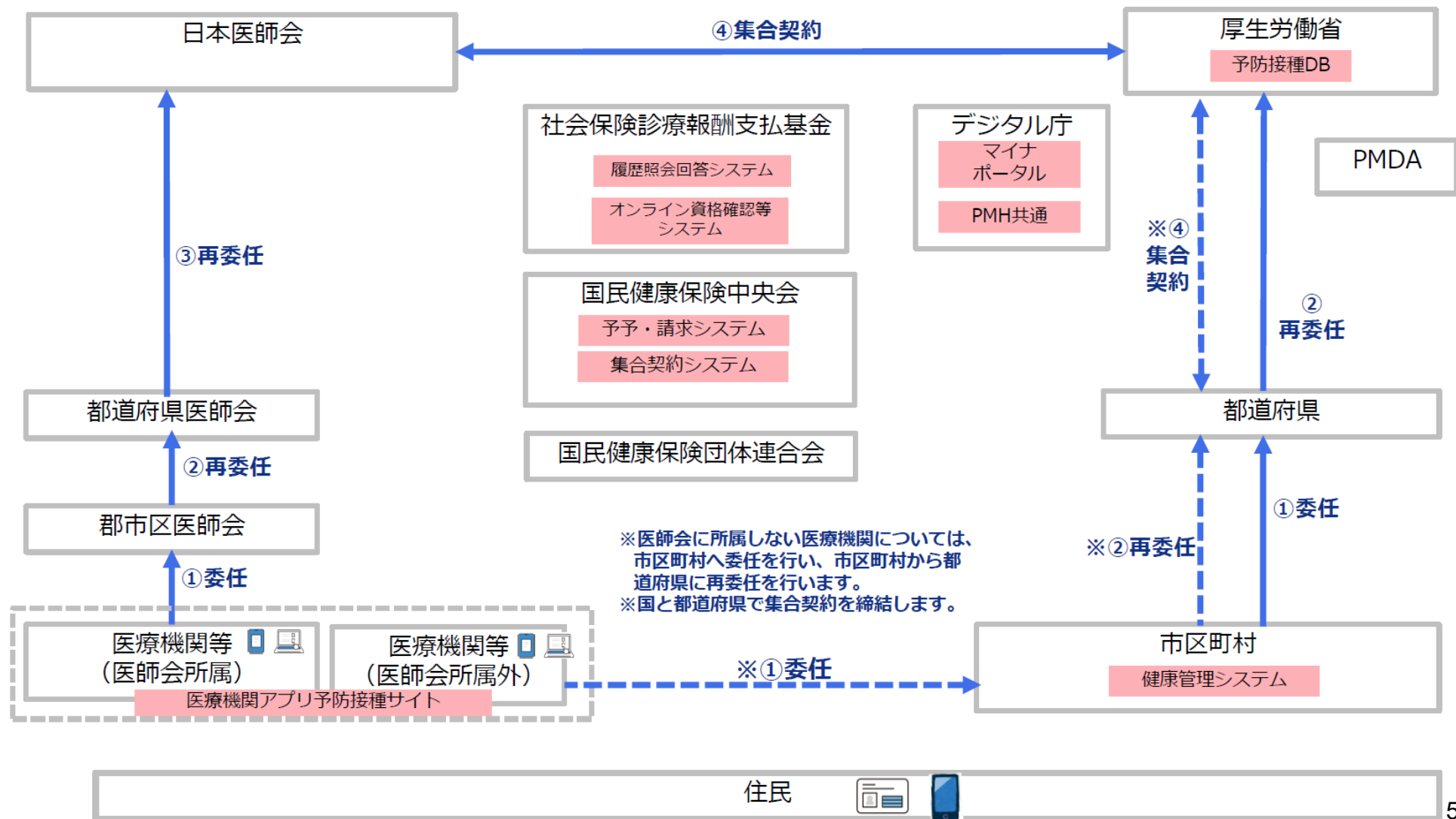
2 - 3 集合契約の全体像

- デジタル化に伴い、風しん5期や新型コロナウイルス（特例臨時接種）に係る予防接種委託契約と同様、全国の医療機関と全国の自治体間で、予防接種委託契約の集合契約を締結します。
- 集合契約を締結することにより、里帰り出産等により、やむを得ず住所地外接種が必要となる場合には、事前申請等の現在の手続きが不要となります。※ただし、住所地外接種の開始は、令和10年度からの予定です。
- なお、集合契約にあたっては、システムに係るアカウント発行手続きが必要となります。



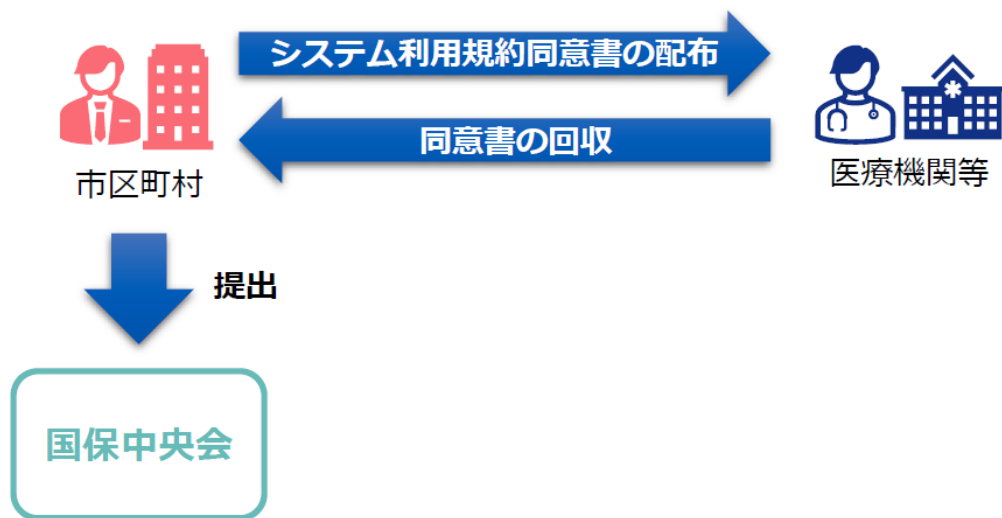
2 - 4 集合契約の主な関係者と流れ

- 予防接種事務デジタル化における集合契約の主な関係者と流れは以下の通りです。



2 - 5 集合契約システム利用規約への同意

- 市区町村から医療機関等に、集合契約システムと予予・請求システムの利用規約同意書を配布・回収し、回収したシステム利用規約同意書を国保中央会に提出する必要があります。



- システム利用規約の概要

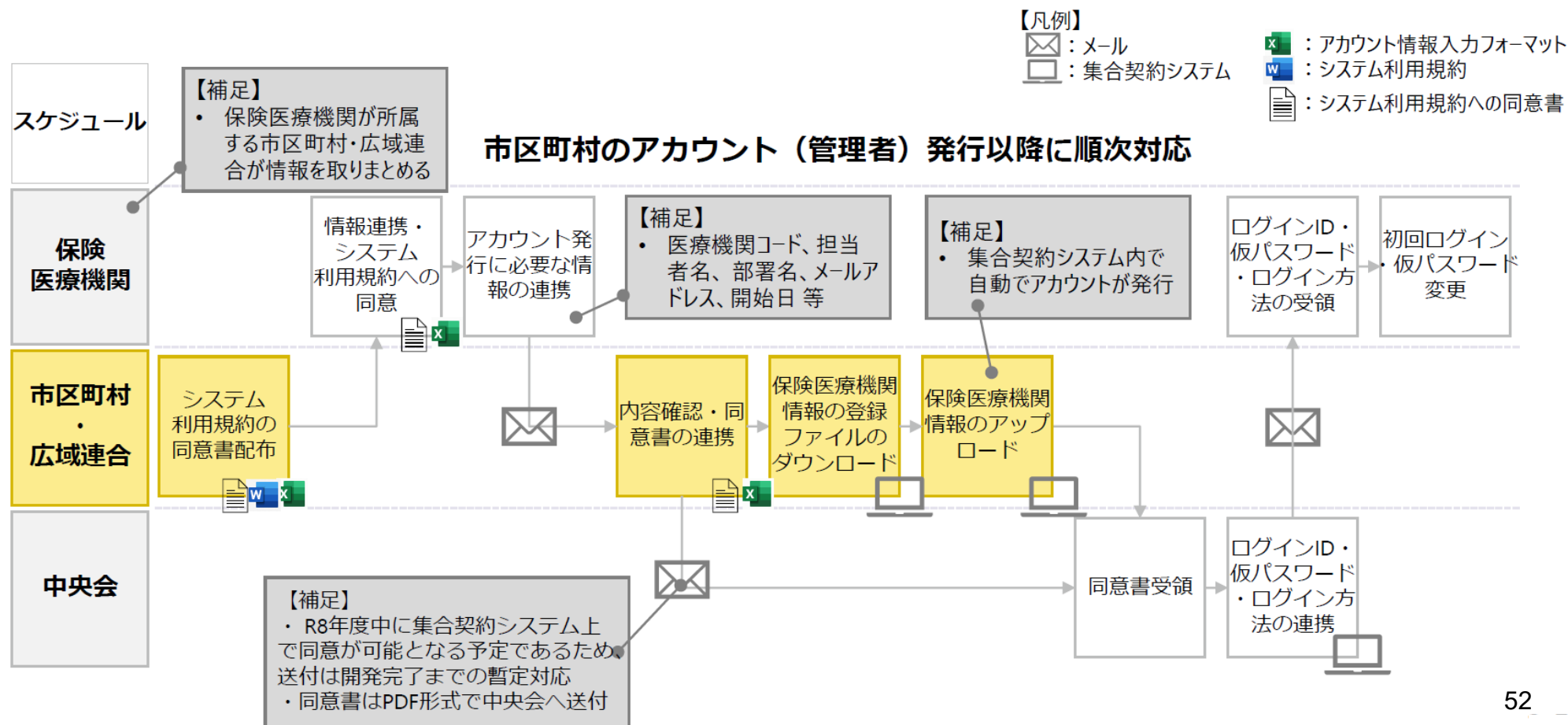
- 集合契約システム及び予予・請求システムのサービス内容に関して、サービス提供者である国保中央会が有する権利義務や、利用者である市区町村及び医療機関等が遵守すべき内容をまとめた規約

- 記載項目（一部）

1. 提供サービスの内容・範囲
2. ユーザー義務・禁止事項
3. システム利用停止・終了条件
4. その他（規約変更、問合せ窓口等）

2 - 6 アカウント情報収集・発行

- 保険医療機関のアカウント発行については、市区町村にて行います。
 - 保険医療機関へシステム利用規約の同意書を配布します。
 - 保険医療機関から収集したシステム利用規約の同意書を中央会へ送付します。
 - 集合契約システムにて保険医療機関の情報を登録するファイルをダウンロードします。
 - 保険医療機関の情報を入力のうえ、集合契約システムにてファイルをアップロードします。



主な質問と回答（第1編・第2編）

No.	質問	回答
1	オンライン資格確認システムとは	医療機関や薬局の窓口でマイナンバーカード（マイナ保険証）などで患者の健康保険や、公費負担医療の資格をオンラインで確認する仕組みです。
2	紙予診票は送付されなくなるか	A類接種については、デジタル予診票の利用状況を踏まえ、将来的に紙予診票の個別送付を終了することを検討しています。 一方、B類接種については、デジタル化への対応が難しい方への配慮から、引き続き紙予診票を送付する予定です。
3	集合契約とは	集合契約は、自治体と医療機関が共通のルールのもとで予防接種業務を行うための、全国的な契約の枠組みです。個々の自治体と医療機関がそれぞれ契約を締結するのではなく、共通の契約関係を構築することで、広域的な運用に対応できる仕組みとなっております。
4	集合契約に参加すると必ず接種記録の登録を行わなければなりませんか	いいえ。集合契約とはNo.3のとおり、あくまで自治体と医療機関が共通のルールのもとで予防接種を行うための枠組みに参加いただくための契約ですので、基本的には全ての医療機関に参加いただきたいと考えております。 一方、予防接種事務の運用は各医療機関により異なるため、接種記録の登録が困難な医療機関におかれましては、これまでどおり、紙の予診票による運用を継続していただくことが可能です。 令和10年4月以降、市民が事前にマイナポータル上でデジタル予診票を入力したうえで来院されるケースも想定されますので、予防接種サイトまたは医療機関アプリで、受付やデジタル予診票を紙出力する対応が出てきます。その方法などのマニュアルにつきましては今後提供させていただきます。 なお、接種記録の登録を行っていただくことで、自動で接種委託料が計算され、毎月の取りまとめや集計、予診票を市へ提出する事務が不要となるなどのメリットもございますので、将来的には接種記録の登録にご協力いただきたいと考えております。

主な質問と回答（第1編・第2編）

No.	質問	回答
5	接種対象者がマイナンバーカードを忘れた場合	接種対象者の4情報（氏名・住所・性別・生年月日）をもとに、自治体へ予防接種対象者番号を照会することで受付が可能です。
6	システム障害や操作方法で困った場合	予防接種事務ヘルプデスクまたは各アプリベンダーが設置するコールセンター等へお問い合わせください。
7	母子健康手帳への記載は必要か	はい。従来どおり、母子健康手帳の「予防接種の記録」欄に接種年月日、ワクチン名、ロット番号、実施場所等をご記入ください。なお、B類についても、お知らせの「予防接種済証」欄への記載をお願いします。
8	予防接種事務のデジタル化において、医療機関にはどのような協力をお願いする予定ですか。	国の方針は、医療機関で接種記録の登録にご協力いただくことを基本としております。 本市としましては、まずは、A類医療機関のうち、接種数の多い医療機関につきましては接種記録の登録にご協力いただきたいと考えております。

主な質問と回答（第1編・第2編）

No.	質問	回答
9	予防接種事務のデジタル化では医療機関は予防接種サイトと医療機関アプリのどちらを利用するのですか	予防接種サイトは、オンライン資格確認システムのネットワークを使用して予防接種サイトへ接続しますが、国によりますと、令和10年4月からオンライン資格確認システムを導入している医療機関におかれましては、ネットワークの接続工事等のコスト負担をかけずに予防接種サイトを使えるようにする予定とされております。 一方、医療機関アプリはインターネット回線を使用して予防接種サイトへ接続しますが、医療機関側でのインターネット環境の整備のほか、医療機関アプリ使用料が別途市の負担として発生しますので、コスト負担を考えると現段階においては、予防接種サイトを導入する方がいいのではと考えております。 今後、コスト面や利便性（使い勝手）などから最終的に判断してまいりたいと考えています。
10	予防接種サイトを使用した場合、医療機関では何を準備することになりますか	接種記録登録の際、ワクチン販売名、ロット番号、有効期限を登録しますが、予防接種サイトではバーコードリーダーでワクチンの外箱に記載されたバーコード（GTINコード）を読み込むことで自動で登録することができますので、バーコードリーダーがあることで登録事務がスムーズになるとされています。 No.9のとおり、既にオンライン資格確認システムを導入されている医療機関におかれましては、予防接種サイトに接続するためのネットワーク接続工事等のコスト負担は生じない予定です。
11	医療機関アプリを使用した場合、医療機関では何を準備することになりますか	医療機関アプリを使用するためのタブレット端末やインターネット環境の整備が必要になります。